

# 浦賀文化

平成20(2008)年4月1日

第14号

Email:uragabunka@yahoo.co.jp

編集・発行:横須賀市浦賀コミュニティセンター分館(浦賀文化センター) 〒239-0822 横須賀市浦賀 7-2-1 TEL&FAX 046-842-4121

## 浦賀ドック 殉職者慰霊塔

住友重機械工業(株)の慰霊塔

東叶神社の裏山、明神山の頂に住友重機械工業(株)の殉職者慰霊塔がそびえ立っています。どのような慰霊塔なのでしょう。

明治三十(一八九七)年創立の浦賀船渠(株)が、不幸にも就業中に殉職された方々の慰霊のためにドック、浦賀港、浦賀水道を見下ろすこの地へ、大正九(一九二〇)年七月に建立しました。塔は、約四四方、高さ約一・九の石積み台の上、二・五ほどの三角錐の金属製で、全高約七に及ぶ塔です。正面に、『招魂塔 従四位勳三等工学博士 今岡純一郎 謹書』、右側に、『為 浦賀船渠株式会社 殉職員』、左側に、『大正九年七月建之』の文字が読めます。会社(籍)を置き出征し戦死した従業員の御霊を合め、現在三百七人が祀られています。慰霊祭は、毎年十月中旬に行われています。



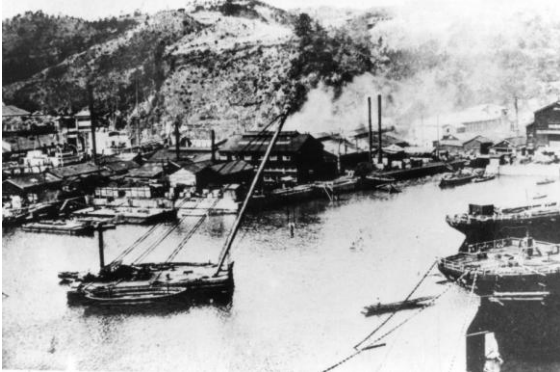
明神山の頂でドックを見守る慰霊塔

郎助を称え、荒井郁之助が提唱し、榎本武揚、臼井儀兵衛らの賛同を得て、明治三十年創立、明治三十三年に操業を開始した浦賀船渠(株)が発祥です。昭和三十(一九六二)年玉島デイル工業(株)と合併し浦賀重工業(株)、昭和四十四(一九六九)年住友重機械工業(株)と合併し住友重機械工業(株)と社名を変えてきました。残念ながら平成十五年に操業を停止し工場としての機能は無くなっています。が、慰霊塔建立の意志は引き継がれています。

側高台にある大きな塔です。頂には、東叶神社の奥の院、東照宮、神明社、勝海舟断食跡があります。また、ここは戦国時代に房州・里見氏の警戒に小田原・北条氏が防備のため築いた砦、浦賀城跡でもあります。燈明堂を望み浦賀水道を行きかう船に、房総半島の景色に、息を切らして上がった甲斐はあります。

## うらがの寫眞館

### 浦賀船渠工場



昭和初期の浦賀船渠(株)工場(西側)の様子

この写真では煉鉄工場の煙突があり、また二階建て工場が山と平行に建てられている。背景の山頂が自然な形をしており、右側に続く山並みも軍によって強制的に写真を修正削除されたとも思えないところから、おそらく昭和初期のもので推定される。「浦賀船渠六十年史」によると、この頃は造船業の戦後不況時代であった。鉄骨をはじめ鉄塔や橋梁などの陸上工事や土木建築業務を兼営していた。工場能力を維持し、優良工員の散逸を防ぐために有給休暇を実施するなどの措置もとられていた。しかし、この時期に造船技術が進歩発達したとも書かれている。



特別展:生活道具と町の移り変わりのパネル展示

今岡純一郎 (大阪岸和田生まれ) 明治七(一八七四)〜昭和九(一九三四年) 明治・大正・昭和期の造船界の第一人者。大正五(一九一六)年勅任官から浦賀船渠(株)専務取締役に就任。翌年八月第七代社長に就任し社業の発展と造船界一般のために献身。

側高台にある大きな塔です。頂には、東叶神社の奥の院、東照宮、神明社、勝海舟断食跡があります。また、ここは戦国時代に房州・里見氏の警戒に小田原・北条氏が防備のため築いた砦、浦賀城跡でもあります。燈明堂を望み浦賀水道を行きかう船に、房総半島の景色に、息を切らして上がった甲斐はあります。

## コミュニティセンター

平成二十年四月一日、組織改正により、教育委員会から浦賀行政センター所管の施設として活動することになりました。浦賀公民館が浦賀コミュニティセンター、浦賀文化センターが浦賀コミュニティセンターと改称しスタートを切りました。浦賀地区のコミュニティセンターとして皆様の変わらぬご利用をお待ちしています。

## 第十九回

### 『特別展示会』開催

浦賀文化センター主催の特別企画展が、去る二月九日(土)から二十四日(日)まで開催されました。横須賀市市制施行百周年と浦賀文化センター創立二十五周年を記念し、『浦賀の百年』(なつかしさと出会い)と題し、懐かしい、また、珍しい資料を展示し明治、大正、昭和の浦賀の様子を楽しんでいただきました。

二月九日の基調講演では郷土史家、横須賀開国史研究会々長・山本詔一さんの「浦賀百年物語」を楽しく、時間の経つのも忘れ聞き入りました。

沢山の方々来館され、主催者および企画者としてこの上ない喜びを感じるとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。次回(平成二

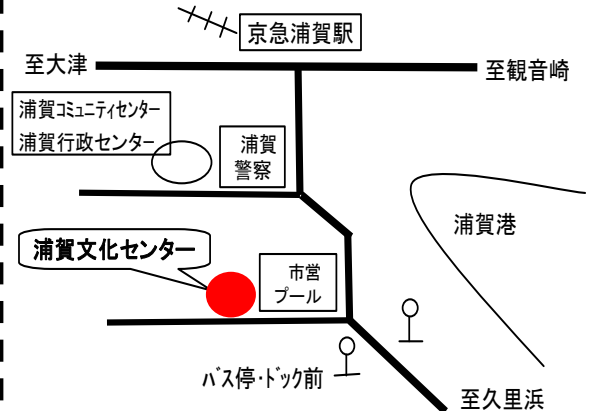
## 東西風

新しい年度が始まりました。浦賀文化センターは開館された当時に戻り、夜間も使用できることになりました。公民館の学習室や集会所が飽和状態で会議や学習会などが思うように取れなかったサークルや団体には吉報です。多いに利用してください。

夜の会という何となく飲食が付きそうな会を頭に思い浮かべるのは私だけでしょうか、もちろん、こども飲酒は禁止ですから、羽目を外さぬようお願いいたします。そういえば、最近あいつが出来ない大人が増えています。あいつを交わすことから、人と人とのコミュニケーションが生まれ、友好の輪が広がるのですから、せめて大人としての「品格」は保ち、潤いのある地域づくりをしましょう。(山本)

## 浦賀コミュニティセンター分館 (浦賀文化センター)

浦賀駅から浦賀通りを徒歩10分



所在地:横須賀市浦賀7-2-1

電話: 046-842-4121 FAX

### 浦賀の植物

#### タンポポ

キク科

子供の時から誰もが知っているタンポポは花の代表といつてもよいでしょう。タンポポという名は総称名で、単にタンポポというのとすべてを指します。外側の総苞片が反り返っている(セイヨウタンポポなど)は中日性で温暖な三浦半島では年中咲きつづけ、自分一人で種をつくり(単為生殖)、落下した場所ですぐに発芽し三月で花を咲かせ種をつくりまします。ひとつの頭状花にはおよそ二百個の花が集まっております、二百個の種ができま

す。一株のタンポポに五個の頭花があるとすると実際は十個くらいのものである。一株で千個できます。その種が三月後には百万個の種ができる計算になります。種が全部発芽し成長して咲けばの話ですが、たった六カ月で一粒の種から百万個になるので、たとえ九十九割のリスクがあつたとしても人間の目に

庭の小枝に蜜柑を輪切りにして小鳥を呼び集めると楽しい光景が沢山ある。一番可愛いのはメジロで一羽がついばんでいる時は他の鳥は見張りをしている。しかし、蜜柑より梅の花の蜜のほうが美味しいらしくすぐに移ってしまう。そのうち、ヒヨドリが見つけて飛んでくるとメジロは逃げてしまう。ヒヨドリはこの場所は自分達

よる建設ラッシュなどが外来タンポポの格好の生育地になり大繁盛したわけなのだ。浦賀の街中では外来種が見られ、燈明堂あたりの潮の影響があると思われる芝地にはカントウタンポポがそれぞれに集団で棲み分けをして生き続けています。タンポポの花は開花後三日間開いて夕方閉じます。何故開くのか、何故閉じるのか、開花するのは夜の気温で決まります。夜の気温が高いと翌朝は明るく

なる。開花し、夜の気温が低いと翌朝は気温が上がらないと開花しない。その夜の気温はセイヨウタンポポで十三度C、カントウタンポポで十八度Cといわれています。花が夕方閉じるのは暗くなるからではありません。開花してから約十時間すれば閉じることが実験でよりわかってきました。昔に習った教科書に「明るくなると開き、暗くなると閉じる」の記述は正確でなくその考えは「博物館ゆき」となりました。

なる。開花し、夜の気温が低いと翌朝は気温が上がらないと開花しない。その夜の気温はセイヨウタンポポで十三度C、カントウタンポポで十八度Cといわれています。花が夕方閉じるのは暗くなるからではありません。開花してから約十時間すれば閉じることが実験でよりわかってきました。昔に習った教科書に「明るくなると開き、暗くなると閉じる」の記述は正確でなくその考えは「博物館ゆき」となりました。

なる。開花し、夜の気温が低いと翌朝は気温が上がらないと開花しない。その夜の気温はセイヨウタンポポで十三度C、カントウタンポポで十八度Cといわれています。花が夕方閉じるのは暗くなるからではありません。開花してから約十時間すれば閉じることが実験でよりわかってきました。昔に習った教科書に「明るくなると開き、暗くなると閉じる」の記述は正確でなくその考えは「博物館ゆき」となりました。

#### 大前悦宏 神奈川県植物誌調査員

十分にあると思います。総苞片が頭状花にびつたりとくっついている在来種(カントウタンポポなど)は長日性で春にだけ咲きます。六月には地上部は消えてしまします。カントウタンポポなどの在来種はハチやチョウチョウなどの昆虫の働きなしには種をつくることはできません。昆虫を沢山呼ぶために集団になり目立たせま

た。え種ができたとしても秋まで発芽しません。ですから繁殖競争で外来種に勝ち目はないようです。そこでいわれたのが「在来タンポポを駆逐した張本人は外来タンポポだ」と、まことしやかに?。最近それは誤りであることが調査でわかり、両者が出現する立地が異なるからと考えられ、人為的作用に原因がありそうです。人間の経済活動・土地利用、空き地、遊休の更地、都市化に

の縄張りとはかりピーピー鳴いて食べ尽くすまで仲間を呼び集める。スズメは蜜柑など好みではないらしくよりつかない。小鳥にも食べ物の好き嫌いがあって自然の餌を取り合わないようにしているのかと思う。しかし、これらの鳥は野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。

の縄張りとはかりピーピー鳴いて食べ尽くすまで仲間を呼び集める。スズメは蜜柑など好みではないらしくよりつかない。小鳥にも食べ物の好き嫌いがあって自然の餌を取り合わないようにしているのかと思う。しかし、これらの鳥は野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。

の縄張りとはかりピーピー鳴いて食べ尽くすまで仲間を呼び集める。スズメは蜜柑など好みではないらしくよりつかない。小鳥にも食べ物の好き嫌いがあって自然の餌を取り合わないようにしているのかと思う。しかし、これらの鳥は野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。

の縄張りとはかりピーピー鳴いて食べ尽くすまで仲間を呼び集める。スズメは蜜柑など好みではないらしくよりつかない。小鳥にも食べ物の好き嫌いがあって自然の餌を取り合わないようにしているのかと思う。しかし、これらの鳥は野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。



食用・生薬にもなる花の代表タンポポ(カントウタンポポ)



一新した展示室 左・ドックコーナー、右・駅伝優勝旗

#### 展示室情報

##### 模様替えしました

特別展を期に展示室を模様替えしました。ドックのコーナーや、昭和十年代に行われた浦賀町神社参拝駅伝競走の優勝旗など特別展の雰囲気を残し、また、マンハッタン号来航の図など開港の地浦賀ならではの展示としました。

なお、特別展で好評いただきました『浦賀町報』の第一号(六十九号)および、浦賀船渠(株)社内報が事務室で閲覧できます。皆様のご来館をお待ちしています。

#### 笑話一題

野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。

野鳥であることから人に馴らしてはいけないので餌をやり過ぎないように時々驚かせている。



閲覧できる浦賀町報と浦賀船渠(株)社内報

#### マリナー号来航



嘉永二(一八四九)年閏四月八日午後一時過ぎ、三崎役宅に詰めている朝倉彦太夫と松村宗右衛門から注進状が届いた。そこには「城ヶ島沖七里ほどの海上に異国船を見た」という三崎の漁師・佐十郎からの届け出が認められていた。

がもつており、中国を出て十三日目であることなどがわかった。戸田奉行から幕府への報告の中には、「いたつて穏やかな船であり、水、野菜など望む品をやれば、早々に出帆するであろう」と記されている。奉行所の応接掛の者が通詞とともにマリナー号に乗って驚いたことは、日本語を使う者が乗り込んでいたことであつた。この通詞が応接掛の者に「あなた

この注進状を見た浦賀奉行所の用人(奉行秘書官)は直ちに、弘化四(一八四七)年から三浦半島を守る彦根藩と川越藩、房総半島を守る会津藩と忍(おし)藩(現在の埼玉県行田に居城があつた)に、異国船接近のニュースを伝えた。

次ぎに「林阿多(リン・アトウ)」といつた。アトウは船長を応接掛に紹介し、今回の来航はイギリスの軍艦で、中国・琉球・日本に御機嫌伺いに来た旨を伝えた。この時船長は幅十疋余、長さ二十四疋ほどの緋の唐紙で作られた名刺を差し出した。そして「浦賀奉行をマリナー号へ招待したい、また自分自身も上陸したい」と告げた。

一方、浦賀奉行、この時はペリー来航の時も活躍する戸田伊豆守氏榮は、幕府へ異国船を見た旨の報告とともに番船を出し、奉行は船番所へ出て来て、浦賀港の入り口にある千代が崎台場などに臨戦体制を敷かせた。

さて、通詞の「アトウ」であるが、この人物、本当は日本人であつた。日本名は「音吉」とい、尾張国知多の宝順丸の船乗りであつた。漂流してアメリカで助けられ、一度モリスン号という船で浦賀へ送り届けられたのであつたが、モリスン号が来航した時には「打払い」が外交方針であつたので、三浦半島や浦賀港を目前にしたが、退散した苦い経験を持っていた。その後は帰国すること

さらに第三報が来て、この異国船はイギリス船であり、「モルナ」という所の船である。実はこれは場所ではなく、「マリナー」という船名であつた。船長の名は「マゼイセン」(マゼソン)といい、マストは二本で乗組員が百十人、大砲は船の左右に六挺ずつで十二挺、小筒は銘々

話をしていた。晩年は妻の故郷であるシंगाポールでその生涯を閉じている。



マリナー号来航の図